海ごみに関する　嶺南市町アンケート　　実施者 アノミアーナ

小浜　　市

1. 現在行われている海ごみ回収事業について　　漁協や地域が主催のものも分かる範囲でご記入ください。

時期	事業名	主催者	回収者
通年	水産多面的機能発揮対策事業	小浜市海のゆりかごを育む会	d、f
6月	クリーンアップ作戦	小浜市漁協	d、f
4～9月、随時	海岸漂着物地域対策推進事業	小浜市	b

a 市町職員
b 業者
c シルバー
d 漁業者
e 観光業者
f 地域住民
g 学校
h NPO系団体
i 地域外ボランティア

2. 実施費用について　　上記の実施費用について、分かる範囲でご記入ください。

事業項目	関係部局	30年度決算額	補助事業の場	補助事業名
水産多面的機能発揮対策事業	福井県水産多面的機能発揮対策地域協議会	1,145,591	国（70）県（1	水産多面的機能発揮対策事業補助金
クリーンアップ作戦	小浜市漁協	1,136,362	福井県から漁	クリーンアップ作戦
川崎漁港	小浜市農林水産課	231,660	国（70）県（0	海岸漂着物地域対策推進事業
犬熊海岸	小浜市農林水産課	200,000	国（85）県（0	海岸漂着物地域対策推進事業（北朝鮮籍の漂着船処分）
白鳥海岸等（県からの委託	小浜市商工観光課	4,291,000	国（70）県（3	海岸漂着物地域対策推進事業
勢浜海岸（県からの委託）	小浜市都市整備課	4,020,000	国（70）県（3	海岸漂着物地域対策推進事業
		11,024,613		

3. 漂着物のうち、自然由来のものと人工物の割合はどのくらいだと感じますか。

自然由来　6割　　人工物　4割

4. 人工物の種類と量、処分方法について

種類	量	処分方法　多い順に
ペットボトル	多い・中・少ない	g
その他プラボトル	多い・中・少ない	g
一般プラごみ	多い・中・少ない	g
発泡スチロール	多い・中・少ない	g
漁具	多い・中・少ない	g
漁網・ロープ	多い・中・少ない	g
金属	多い・中・少ない	g

a 処分方法
b 海岸に埋込
c 野焼き
d 焼却炉
e リサイクル
f 埋立処分　県内
g 埋立処分　県外
h その他（　　）

5. 海ごみの発生源について、対策を講じる必要があると思われることをご記入ください。
・釣り人の根掛かりによる仕掛け等などの回収
・漁港施設内の定期的な清掃（強風等で漁具・資材等が飛んでいくのを防ぐ）
・河川流域の清掃

5. 海ごみについて、工夫していること、困っていることがありましたらお書きください。
ボランティア等が回収した海ゴミは一般廃棄物に分類され、その許可業者が小浜市内には2社しかない。
一般廃棄物処理の許可は、運搬と処分とに分かれており、回収までしてもらおうとするとその2社以外に頼むことが出来ず、市外業者へ処分を頼む場合は持ち込む必要がある。
そのため、回収をお願いしてもすぐには対応できず、市の職員で回収対応しているが限界がある。